

番号	31 - 37	申請者	療養介助専門員 石橋 美由樹
<p>【審査申請課題】 啼泣・大声を繰り返す重度心身障害患者へ療養介助専門員の役割</p>			
<p>【審査課題の概要】 重度心身障害者のA氏は、歌を歌ったり、職員の問いかけにオウム返しをしたり、笑顔で過ごしている。しかし、ベッド上で過ごしているときに突然、啼泣や「イヤー」と大声を発することがある。そこで、自分の思いや要求を発信する(言葉で表現する)ことができないA氏に対し、どう対応したら、啼泣や大声がなく笑顔で過ごすことができるのかを、看護師等の他職種と合同カンファレンスで検討を行った。関わり方として、発熱や外傷などないか確認したうえで、寂しいのではないかの思いから、暫く傍にいて声をかけたり、職員の気配がする場所へ連れてきたり何らかの対応をとっていることがわかった。そこで、A氏を取り巻く環境や、障害特性に啼泣する要因があるのではないかと思い、A氏の障害や日常生活状況に着目し、心穏やかに過ごせるための支援を行えるように、療養介助専門職としての関わりを振り返った。</p>			
審査結果	承認 (令和1年12月19日)		